

～山地に囲まれた観光地での流域治水の推進～

○気候変動による水災害の激甚化・頻発化に備え、木津川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

## 対策内容

### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川等整備 ・河川等の維持管理
- ・流域の雨水貯留機能の向上・保全
- ・防災重点ため池等の改修、浚渫、廃池
- ・田んぼダムの実施による一時貯留機能の拡大

### ■ 被害対象を減少させるための対策

※対策が実施され次第、掲載を予定

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水災害リスク情報空白地帯の解消
- ・住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・土砂災害警戒区域等の指定
- ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備
- ・被災自治体に対する支援の充実

※災害からの安全な京都づくり条例に基づき、府、市等が一体となって防災対策を推進

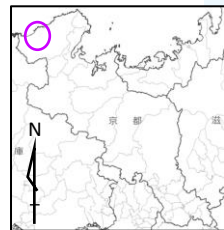
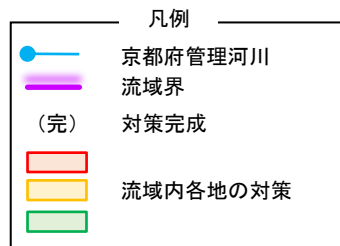


図-3 ハザードマップの作成・周知 (提供：京丹後市)



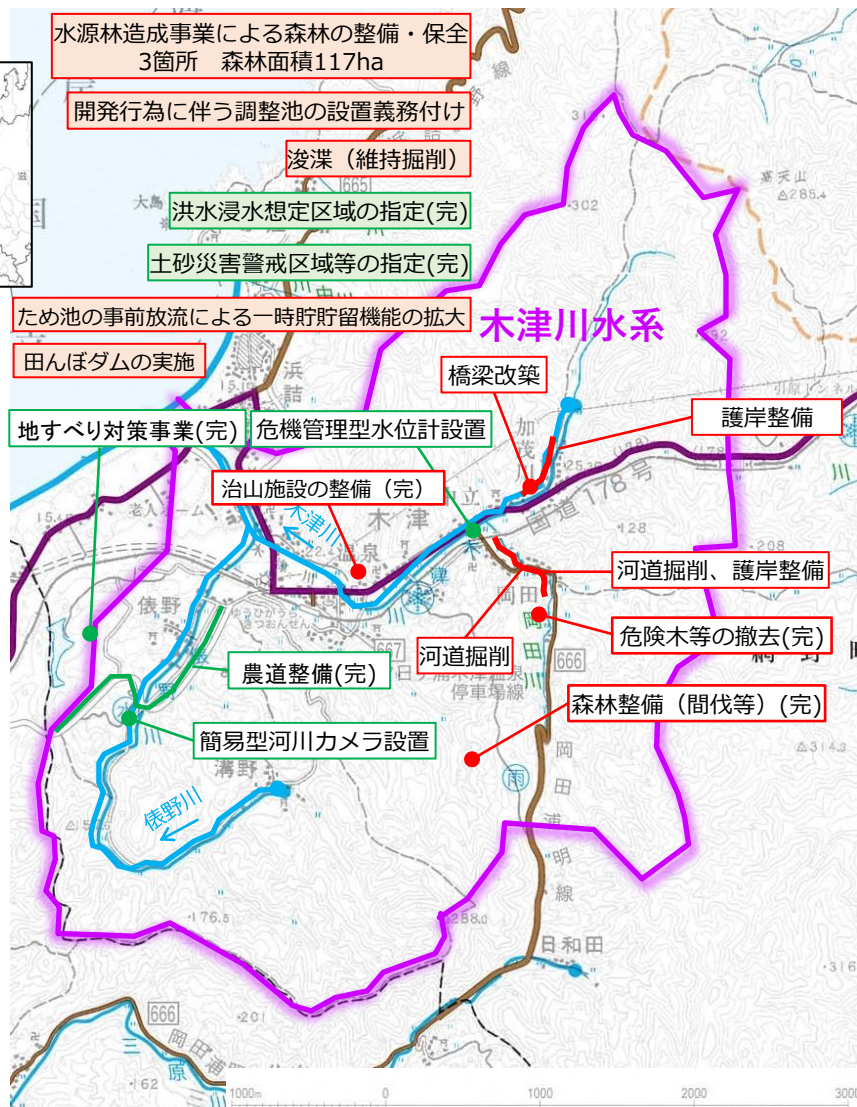
図-1 河道掘削施工イメージ



図-2 水源林造成事業による森林整備実施イメージ





















H29年台風18号 被害状況  
時間最大雨量 73mm



※本図は全対策の内、代表的な対策を記載している。  
※具体的な対策内容については今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 木津川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 河道掘削等の河川維持管理を行うとともに、「海岸保全施設の整備・維持」を行う
  - 【中長期】 河川整備により、さらなる流下能力の向上を図るとともに、「避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実」や「住民の水害リスクに対する理解促進の取組」等のソフト対策を実施する

区分	主な対策内容	実施主体	工程 (  対策実施中  対策完成 )	
			短期 (令和4年度～令和8年度)	中長期 (令和9年度～令和33年度)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川等整備	京都府		
	河川等の維持管理	京丹後市、京都府		
	流域の雨水貯留機能の向上・保全	京都府・森林整備センター		
被害対象を減少させるための対策	-	-		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白地帯の解消	京丹後市、京都府		
	住民の水害リスクに対する理解促進の取組	京丹後市		
	土砂災害警戒区域等の指定	京都府		
	避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実	京丹後市、京都府		
	被災自治体に対する支援の充実	京丹後市		

治山施設整備

気候変動を踏まえた更なる対策を推進